

いわて

議会だより

2013.06

28



深緑の聖天堂

Contents

- 2 第1回臨時会及び第1回定例会
- 3 一般質問、市議会の構成
- 11 委員会報告
- 12 フォトギャラリー、6月議会の本会議開催予定日

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野 209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成25年第1回臨時会及び第1回定例会

案 件 名	結 果	賛否 ○……賛成 ×……反対										―……賛否に加わっていない						
		公明党 議員団			日本共産 党議員団		岩出クラブ			郁青青 クラブ			ネット岩出				尾 和 弘 一	
		宮 本 要 代	玉 田 隆 紀	田 畑 昭 二	市 来 利 恵	増 田 浩 二	西 野 豊	上 野 耕 志	福 山 晴 美	松 下 元	山 本 重 信	三 栖 慎 太 郎	梅 田 哲 也	田 中 宏 幸	井 神 慶 久	吉 本 勸 曜		
岩出市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	(議長の ため、賛 否に 加わ るこ とが 出 来 な い。)	○	○	○	○	○	○	×	
岩出市監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に 関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市支援費支給条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市障害程度区分認定審査会委員定数条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市地域生活支援事業に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運 営に関する基準等を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及 び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防 のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市が設置する都市公園に係る移動等円滑化のために必要 な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度岩出市一般会計補正予算（第 5 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度岩出市一般会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
平成 25 年度岩出市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
平成 25 年度岩出市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
平成 25 年度岩出市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
平成 25 年度岩出市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度岩出市墓園事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度岩出市水道事業会計予算	可決	○	○	○	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×

予算審査特別委員会

(平成 25 年 3 月 5 日選任)

◎ 田 畑 昭 二 ○ 山 本 重 信
宮 本 要 代 田 中 宏 幸
西 野 豊 吉 本 勸 曜
福 山 晴 美 市 来 利 恵

◎委員長 ○副委員長

一般質問

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
※内容等については質問者にお問い合わせください。

田 中 宏 幸 議員

4 頁

◎和歌山国体の準備について

宮 本 要 代 議員

5 頁

◎教育について

◎地元産業の振興について

井 神 慶 久 議員

6 頁

◎「そうへいちゃん」の啓発事業について

◎岩出市総合保健福祉センターの設備について

尾 和 弘 一 議員

7 頁

◎公共施設整備・再編計画有効利用について

◎家庭ごみ減量対策について

◎通学路の危険箇所について

◎選挙のあり方について

◎春日川の汚染について

市 來 利 恵 議員

8 頁

◎保育所の食物アレルギー対策について

◎学校食物アレルギー対策について

◎小・中学生の摂食障害対策について

◎障がい者雇用について

増 田 浩 二 議員

9 頁

◎ごみ袋の改善とクリーンセンターについて

◎水害対策について

田 畑 昭 二 議員

10 頁

◎道の駅「根来さくらの里」について

◎高齢社会に対する対応策について

◎各自治会の避難経路及び障がい者の避難について

◎委員長 ○副委員長

〈 岩 出 市 議 会 の 構 成 〉

議 長 松 下 元

副議長 吉 本 勸 曜

議会運営委員会

(平成 25 年 2 月 20 日選任)

◎ 田 畑 昭 二 ○ 井 神 慶 久
山 本 重 信 吉 本 勸 曜
上 野 耕 志 増 田 浩 二

総務文教常任委員会

(平成 25 年 2 月 21 日選任)

◎ 井 神 慶 久 ○ 宮 本 要 代
梅 田 哲 也 西 野 豊
三 栖 慎 太 郎 市 來 利 恵

厚生常任委員会

(平成 25 年 2 月 21 日選任)

◎ 山 本 重 信 ○ 福 山 晴 美
田 畑 昭 二 吉 本 勸 曜
増 田 浩 二

建設常任委員会

(平成 25 年 2 月 21 日選任)

◎ 玉 田 隆 紀 ○ 田 中 宏 幸
松 下 元 上 野 耕 志
尾 和 弘 一

議会広報常任委員会

(平成 25 年 2 月 21 日選任)

◎ 吉 本 勸 曜 ○ 宮 本 要 代
田 中 宏 幸 西 野 豊
山 本 重 信 福 山 晴 美
市 來 利 恵



田中 宏幸 議員
(ネット岩出)

★わかやま国体に向けて



和歌山国体を開催する

意味・意義というのは、スポーツ大会を開催するだけではなく、国体開催をチャンスとして、地域の活性化が図られることが重要であると私は考えています。

質問

- ①市における国体の概要と開催方針について
- ②開催準備とスケジュールについて
- ③開催に向けての課題と啓発面での取り組み方について
- ④今回の国体開催による経済効果と、岩出市の商工業者が経済効果を最大限に享受する事ができるためには、どのような対策が必要と考えられているのか。

答弁 市長公室長

- ①国体正式名称
 - ・第70回国民体育大会
 - ・第15回全国障害者スポーツ大会
- (国体競技種目)
 - (1)ボウリング
 - (2)バドミントン
 - (3)ハンドボール
 - (障害者競技種目)
 - (1)ボウリング
 - (2)バレーボール
 - (大会目標)
 - ・市民総参加
 - ・県内外からの皆さんを温かいおもてなしの心
 - ・岩出市の魅力をお伝えする大会を目指す
- ②専門委員会設置
 - ← 各種計画案作成
 - ← 実行委員会で決定



リハーサル

←

- ③課題と啓発事業

- (1)宿泊設備
 - ・県内外の宿泊設備の検討
- (2)交通アクセス

- ・高速道開通
- (3)啓発事業

- ・各種チラシ作成
- ・イベントPR作戦
- ④経済効果と来客予想
 - ・県全体で641億円
 - ・日帰り客79万人推計
 - ・宿泊客17万人推計
- 県では、国体PRと連動

質問

して、大勢の来客を予定して、大型観光キャンペーンを実施予定です。また、お土産販売等も含めた内容で、色々検討しています。

- ①スポーツ施設は今後、市民が利用する事になります。そのためには今後整備が必要となります。この施設整備はどのように考えられているのか。

- ②「そうへいちゃん」を活用した、お土産づくりが必要だと考えるが、国体に限り「商標登録」使用料金の無償化を考えたかどうか。

答弁 市長公室長

- ①快適なスポーツには、環境整備が必要ですので整備を実施します。
- ②岩出市のPRにもつながりますので、国体に関連したものに限り、無償化に向けて要綱の見直しを進めているところです。



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

「早寝・早起き・朝ごはん」 で学力の向上を！

教育について

質問

①発達障害の早期発見について。

②介助員の配置について。

③いじめ対策に専門職員の拡充を。

④規則正しい生活習慣の確立を。

答弁 教育部長

①小学校長、担当者、教育委員会の指導主事が保育所や幼稚園を訪問し、対象幼児の観察や話しを聞き、連携を図る。

学校では、

・注意力が散漫。

・じっと座ってられない。

・雰囲気や気持ちが読めない。

・対人関係を結ぶことが苦手。

・特定のものや事柄に強いこだわりがある。

など発達障害の可能性のある児童について、

ポイントシート・チェックリストを活用し、早

期発見に生かしている。

②平成25年度、2名の増員で16名体制。

・介助員の配置で、子どもの安全面への配慮が充実する。

・対象児童生徒の積極的環境の安定が図られる。

③スクールカウンセラーを、新たに上岩出小学校に配置する。

④家庭学習啓発資料「いわでのこ」を作成し、啓発していく。

質問

発達障害への保護者の対応について。

答弁 教育部長

専門機関への相談を促す。

専門機関は、

・小学校3年生までは岩出市総合保健福祉センター。

・つくし医療センター。

・県子ども・障害者・女性相談センター。

質問

注意欠陥多動性障害等の発達障害のある児童が学童保育を利用する場合、配慮はあるのか。

答弁 教育部長

学童保育では指導員の増員は考えていない。委託金の加算を行う。

家庭学習啓発資料

いわでのこ

ちょっとした心がけ
子どもを伸ばす家庭の場



岩出市教育委員会



地元産業の振興について

質問

①振興策について。

②地元産業の発展に寄与した方に表彰を。

答弁 事業部長

①地元中小企業者に資金繰りを支援するため、中小企業資金利子補給の実施。

・プレミアつき商品券の発行。

・イベントの実施で誘客を図り、地域経済の活性化に取り組む。

②ふるさと賞の産業部門で表彰。

◎オリジナルナンバープレート について ◎岩出市総合保健福祉センターの 設備について



井神 慶久 議員
(ネット岩出)



質 問

岩出市イメージキャラクター「そうへいちゃん」を広報紙やHP、各種刊行物、各種イベント等に積極的に参加しているが、PRが足りないように思う。「そうへいちゃん」をモチーフにしてオリジナルナンバープレートを作成できないのか。また、どれくらいの経費が必要か。平成24年度のバイクの登録台数は、また、現在の総台数は何台か。

答 弁 (税務担当)

オリジナルナンバープレートは、平成19年7月に松山市が導入して以来、各地域の特色を生かしたデザインを採用し、それぞれの自治体のイメージアップや地域振興を目的として導入されており、現時点での全国状況は、1,750団体中179団体(10%)の導入となっている。

「そうへいちゃん」をモチーフとしたナンバープレートを使用することになれば、岩出市のイメージアップにつながるものと考えている。

平成24年度のバイクの登録台数は、901台、総登録台数は、6,398台になり、作成に要する費用は、金型製作費に300万円程必要で、更にプレートを一枚製作するのに現行の約3.5倍かかり、費用対効果の観点から課題もあり、他市の動向等見極めながら研究していきたい。

質 問

あいあいセンターの設備について、いろいろな事業が毎月数多く行われているが、その中で母子保健事業が多く、現在1階東側トイレにしかオムツ替えベッドがなく、2階にベッド・専用の授乳室・子ども用の洗面台の設置ができないか。

答 弁 生活福祉部長

2階への利用者も多く、トイレのオムツ替えベッドの設置を前向きに検討する。子ども用洗面台は



踏み台を設置し、利用しやすいように工夫したい。

授乳室は、現在1階東側の診察待合室に設けている。ポット設置は、常時職員の目が届く場所ではなく、安全面を考えると設置は困難である。

手洗い場については衛生面の観点から、前向きに検討する。

公共施設の整備 有効利用、

脱原発 太陽光発電の補助金制度

有料ゴミ袋 破れやすい、通学路の危険箇所、

春日川工場排水問題を質問する

①公共施設整備・再編成計画・有効利用・白書での評価・施設の売却
②脱原発に向けて公共施設「屋根貸し」事業
③太陽光発電の普及・設置補助金制度の創設

答弁 総務部長

①施設を管理している部局において修繕・点検を受けている。市全体を見据えて計画的に運用していく。白書は作成していない。施設のあり方、活用を検討していく。

②「屋根貸し」については考えていません。

答弁 生活福祉部長

③太陽光発電の普及促進については、国のエネルギー政策が具体化し、国・県・市町村の役割が明確化された時はその役割を果たしていくことになるが、現段階では、市が主体になって太陽光発電を取り組む考えはない。

答弁 市長公室長

再生可能エネルギーの普及促進の取り組みは考えていない。

答弁 市長

太陽光の件ですが、国のエネルギー政策がはっきりと具体化し、国・県・市町村の役割が明確化にされた時、市として判断をさせて頂きたい。

危険通学路の改善と対策

質問

再点検し、危険箇所は改善したのか。また、保護者・児童と共通の認識としているのか。

答弁 教育委員長

危険箇所は児童生徒が安全に通学できるよう学校、保護者をはじめ地域の皆様と連携を図り取り組めます。

答弁 教育部長

小学校では新一年生入学後、教員が下校指導を行い保護者、見守り活動等で行っている。改善については整備工事に取り組んでいる。危険箇所は18カ所あり対策済みが16カ所、他の所は用地交渉中、もう一カ所は岩出橋の4車線化の時点までという事です。

「3つの有料化」市民は理解していない。

質問

ゴミをコンビニや量販店に持ち込み、他市へ持参する実態にある。

また、「破れやすい」袋の対策を求める。

答弁 生活福祉部長

破れやすい等の苦情があり業者に指示し、修繕させたところです。

新たに製造する袋は仕様書等で改めます。減量化の検証については家庭系14%減、事業系16%増になっている。



破れやすいゴミ袋



工場からの排水口

春日川の汚染排水について

質問

高塚地区の工場排水に関して、発がん性有害物質等の検査はしているのか。

答弁 生活福祉部長

公害関係法令で県が指導している。市民からの苦情は2件あった。その際、保健所と同行して現地確認した結果、問題はなかった。県は年3回調査を行って金属系の有害物質についても基準値を超えたものはない。今後保健所と連携したい。



尾和 弘一 議員



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

現在、3人に一人が罹^か患しているアレルギー疾患。食物アレルギーは、誤ってアレルギーがある食べ物を食べてしまうと、命を落としてしまう危険があります。

親の目の届かない保育所で子ども達の安全がいかに守られているのか、特に入園前の子どもがいる家庭では心配です。

子ども達の健康と安全を守り、心身ともに健やかな成長を支えていくことは保育所の役割でもあります、責任です。

また、現場だけの責任問題とせず、子どもの命はどんなことがあっても守る、人と人との関わりを通して心豊かな人間性を形成させていく、これ

食物アレルギー児の 誤食事故を防ぐために…



は岩出市行政の役割と考えます。

質問

①厚生労働省が平成23年3月に出している「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の周知徹底は。

②ガイドラインでは、市町村の地域、特性を勘案した緊急時の対応マニュアルを策定し、統一見解を図ることが必要とあるが、マニュアルの策定は。

③市町村における保育所での健康安全に関わる協議会等を設け、その中にアレルギーの専門委員会を設置し、研修会の企画や啓発など検討することが望ましいが、協議会の設置の考えは。

④誤食による事故を防ぐために、職員全員がアレルギーを学び理解することが重要です。また、行政として、現場の声に耳を傾け、スタッフの増員、配置問題などしっかり整えていく必要があるがどうか。

答弁 生活福祉部長

①各保育所に周知しているところ。

②マニュアルを策定し、情報共有を図っていく。

③必要に応じて検討する。

④県が主宰する研修会あるいは、食育講習会等に参加し、新たな知識の習得に努め、万全を期していきます。

質問

食物アレルギー反応を起こし、重篤な場合、顔等が腫れ上がり、呼吸が出来ず血圧が下がり命を落とすアナフィラキシー・ショックを起こすケースがあります。その場合エピペンという自己注射をしなければ命の危険があります。

保育所対応の考えは。

答弁 生活福祉部長

重篤な反応が起きた場合、速やかに医療機関に救急搬送することが基本だが、保護者からの依頼でエピペンを預かる場合、保育所職員が保護者にかわって使用することを想定した取り組みを行っている。

※エピペンとは…

万一の場合、直ちに医療機関での治療が受けられない状況下にいる者に対し、事前に医師が処方する自己注射薬です。



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

水害対策について 今後の対応と現状は



質 問

水害対策計画で①吉田地区、②西野・高瀬地区、③中迫地区、④岡田地区の5つの地域について検討がされているが、今後の対応と現状は。

答 弁 事業部長

①吉田地区は、平成25年度吉田さんまい付近の護岸整備の用地取得が完了。県に上流部の早期着手を強く要望していく。
②西野・高瀬地区については、平成25年度の国営

総合農地防災事業と調整を図り、泉佐野岩出線の南進時に合わせて検討する。

③中迫地区は、藤崎井用水路で30cmの嵩上げを実施。平成23年度の山田川への放流ゲート増設後、

用水路に流れ込まないという意見は出ていない。

④岡田地区は、紀の川市との境界付近で紀の川へ直接放流する新設水路事業を計画、平成26年度工事着手と聞いている。

「ごみ袋」が裂けやすい
材質の改善を求める

質 問

有料化後の「ごみ袋」は、以前の袋よりも材質的に弱く簡単に裂けてしまうという声が多数あります。すぐ破れるため、「ごみ袋」において材質面の強化改善が必要と考えるがどうか。

質 問

中迫で平成24年度でも「用水路に流れ込まないか。」という声がある。また、大町排水路下流の狭い部分の将来対応はどうするのか。

答 弁 事業部長

平成24年度中迫で大きな浸水があったとは認識していない。泉佐野岩出線南進時に、下側に大町排水路のバイパス水路となる水路を埋設出来ればと考えている。

答 弁 生活福祉部長

破れやすい原因として、請負業者の「ごみ袋」の裁断時、歯の磨耗が原因で目に見えない傷があった。今後、発注する際には、製造時の仕様書等で改めてまいります。

「ごみ袋」作成は入札を行い1社で作成している。

その他の質問

これ以外に、クリーンセンターのビンカン集積場での水溜まり改善や新しく始めるリサイクル工房について、市の視点なども質問しました。

道の駅根来さくらの里 に更なる緑化を！



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

道の駅根来さくらの里に更なる緑化を。

質 問

・根来さくらの里は当市の玄関口であり、お客様に歓迎の心を表すためにも、更なる緑化をする考えは。

桜の木などを植樹しイメージアップする。

答 弁 事業部長

根来さくらの里は緑の山に囲まれているが、更なる緑化を、という意見も頂いているので、今後施設をイメージアップするために桜の木などを植樹し、集客力を高める取り組みも検討していく。

高齢者の対応策について

質 問

・定年退職者の就業機会の創出が必要と考えるが、市の具体的な対応策は。

・高齢者版ファミリーサポートセンターの様なボランティアの組織化が必要と思うが。

・余暇の有効利用について、高齢者向け大学講



道の駅根来さくらの里

より一層の高齢者施策の充実に努める。

答 弁 市長

座や、野菜栽培農園等の市民農園の拡充が必要ではないか。

・高齢者向けのスポーツ・食事・生活習慣のための講座を多く提供してはどうか。

意欲と能力のある高齢者は、今後とも社会の担い手としてその機会や場所を確保し、より一層高齢者施策の充実に努めていく。

答 弁 事業部長

シルバー人材センターが今後も公共事業や民間の仕事の受注と開拓に努めるよう、引き続き支援を行う。

高齢者の生きがいづくりやボランティア活動を支援できる体制づくり等について調査研究していく。

答 弁 教育部長

高齢者向け教育講座は、65才以上の市民を対象に、市内5ヶ所の公民館で、岩出ふれあい学級を開催している。平成24年度は211名の方が参加され、平成25年度は、250名の参加申し込みがあり、今後も更なる充実に努める。

答 弁 事業部長

高齢者の野菜栽培圃は、現在の市民農園の利用状況は、96名のうち55名の方が65才以上の高齢者となっており、今後、市民農園の増設と農産物の作り方講習なども含め、充実に努めていく。

避難経路及び、障がい者の避難場所。

質 問

・各自治会からの避難場所への最良の経路は。

・障がい者の避難場所が必要ではないか。

答 弁 総務部長

避難経路は、それぞれの事態に応じて各家庭で話し合いを常々していただくよう周知徹底する。

答 弁 生活福祉部長

共同生活の困難な方の避難場所は、社会福祉法人和歌山つくし会と本年1月締結をした。



野菜栽培を楽しむ

各常任委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 井神 慶久
副委員長 宮本 要代
委員 梅田 哲也
〃 西野 豊
〃 三栖慎太郎
〃 市來 利恵

＊平成25年3月1日

春季全国火災予防運動の啓発を行いました。出陣式後、風雨のため啓発は延期になりました。



＊平成25年4月4日

春季全国火災予防運動の啓発を市内2ヶ所で行いました。



厚生常任委員会

委員長 山本 重信
副委員長 福山 晴美
委員 田畑 昭二
〃 吉本 勸曜
〃 増田 浩二

子どもの発達障害

【研修報告】

文部科学省報告では、発達障害と思われる子どもたちは（65％）あるそうです。

発達障害の区分

- ①LD（学習障害）
- ②ADHD（注意欠陥多動性障害）
- ③HFPPD（高機能広汎性発達障害）

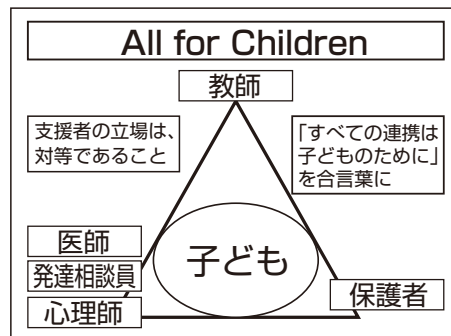
大きく3つの分類に分けられています。

これらの子どもたちには、親御さんや地域社会の理解と手助けが必要です。

委員会内で調査を実施し対応したいと考えます。



ごみ分別事業
（ストックヤード完成）
処理品目
・廃プラスチック
・ペットボトル
・ダンボール・紙パック
・衣類・新聞・チラシ
・缶・ビン・スラッグ
年間処理量
約三千三百トン



建設常任委員会

委員長 玉田 隆紀
副委員長 田中 宏幸
委員 松下 元
〃 上野 耕志
〃 尾和 弘一

3月の第1回定例会において、委員会に付託されました議案9件について、3月15日に開催し、慎重に審査を行いました。付託議案はいずれも全会一致で可決し、市道路線も全線認定となりました。これらの議案審査に先立ち、市道路線の認定のための現地調査を行いました。



いわで
ふおとぎゃらりい



6月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。
ぜひ傍聴におこし下さい。

6/ **11**(火)、**14**(金)、**24**(月)、**26**(水)、**27**(木)

編集後記

初夏の陽ざしに、夏服の白がまばゆく映える季節になりました。

「フォトギャラリー」は昨年の岩出中学校の活輝祭の写真です。生徒の健やかな笑顔と真剣な表情は感動を与えてくれました。

今月号から議会だよりの編集は新しいメンバーになります。紙面づくりに頑張って参りますのでご愛読よろしくをお願いします。

議会広報常任委員会

委員長 吉本 勸曜
副委員長 宮本 要代
委員 田中 宏幸
西野 豊
山本 重信
福山 晴美
市来 利恵